

マガレイ

日本海海域

Pseudopleuronectes herzensteini

地方名

あかがしら、くちぼそ、

あかがれい（陸奥湾、日本海）



生態

- ①寿命：10年以上
- ②成熟：オス2歳、メス3歳以上
- ③産卵期：本県日本海では4月、陸奥湾では5月
- ④産卵場：水深15m～70mの砂泥域
- ⑤分布：サハリン、千島から瀬戸内海、山陰地方にかけての沿岸域。
- ⑥生態：通常は水深150m以浅の沿岸の砂域から砂泥域に生息。食性はゴカイ、二枚貝、ヨコエビ、クモヒトデ類など。

主な漁業

底建網、刺し網、底びき網で漁獲。主漁期は1月～3月、9月～10月。漁獲主体は2～3歳魚。

資源の動向と水準

青森県日本海側の漁獲量は、1993年の96トンを一ピークにその後減少傾向にあり、2022年には5トンと最低となった。

2022年の資源動向は、コホート解析により推定した資源量の直近5年間の傾きから減少と判断した。2022年の資源水準は、長期間データを有する漁獲量を判断材料とし、その最高値と最低値との間を3等分し、上から高位、中位、低位とすると、低位であった。



資源を上手に利用するために

- 資源管理計画（1994年3月）
 - ・かれい刺し網目合規制（3.5寸以上）の徹底、三枚網及び留網禁止などを定めた。
- 日本海北部マガレイ、ハタハタ資源回復計画（2003年7月水産庁）
 - ・小型定置漁業（底建網漁業を含む）による全長15cm未満個体の再放流を定めた。
- ☆上記の取組を継続することが必要である。

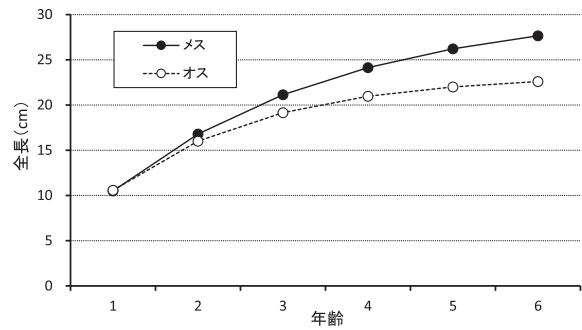


図 青森県におけるマガレイの成長

出典：伊藤ら（2015）青産技セ水研研報，9，1-14.

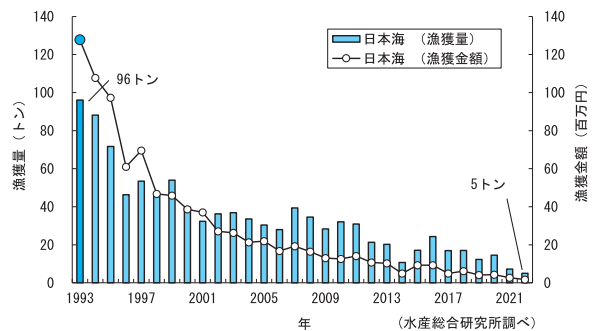


図 青森県日本海マガレイの漁獲量及び漁獲金額の推移

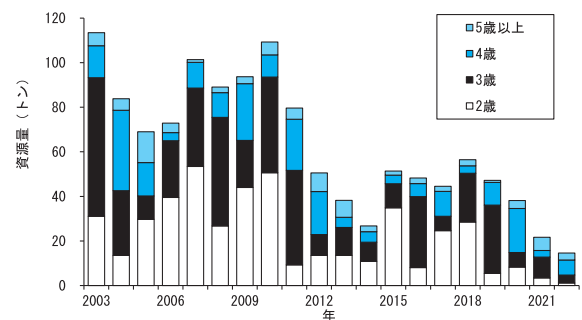


図 青森県日本海マガレイの年齢別資源量の推移